

記入例

令和7年度西高屋駅周辺地区まちづくり実証事業支援補助金 申込書

令和7年7月15日

東 広 島 市 長 様

申請者 住 所 東広島市西条栄町8番29号

団 体 の 名 称 東広島まちづくり会社

代表者の職氏名 代表 東広島 太郎



令和7年度西高屋駅周辺地区まちづくり実証事業支援補助金の交付を受けたいので、次のとおり申し込みます。

1 補助対象事業名 西高屋地域活性化事業

2 添付書類

- (1) 申込チェックシート
- (2) 団体概要
- (3) 構成員名簿（構成員が10名を超える場合は、任意の様式に必要事項を記載してください。）
- (4) 事業計画書
- (5) 概算予算書
- (6) 将来の展望
- (7) 団体の定款等
- (8) 【任意】参考資料（※事業内容に関する資料等。A4片面4枚までを添付可能）

(1) 申込チェックシート

チェック項目		☑欄
1	高屋情報ラウンジ「あったかや」で実施する事業ですか？	✓
2	令和8年3月31日までに完了する事業ですか？	✓
3	政治的、宗教的な事業ではないですか？	✓
4	東広島市の他の補助金の交付を受けていない事業ですか？	✓
5	複数申請していませんか？	✓
6	構成員は、5人以上いますか？	✓
7	団体所在地が東広島市高屋町ですか？	✓

○補助対象経費について

※概算予算書の提出、また実際補助金を使われる際、特に次の点に注意をお願いします。

「対象とならない経費」に該当する支出については、対象外経費として市の補助対象経費外の団体自己負担金等に対応してください。補助対象経費内で支出があることが分かると、その金額分補助金を減額することになります。

※概算予算書の提出時に、詳しい内訳等が記入できない場合は概算で記入いただいても結構です。ただし、補助金申請額（補助対象事業費）の部分は、審査時に参考とさせていただきますので、可能な限り実際に必要となる事業費を記入してください。

※採択団体については、申込時から変更があった場合のみ、補助金交付申請時に再度予算書の提出をしていただきます。

(2) 団体概要①

団 体 名	東広島まちづくり会社		
代 表 者 ※非公開	役 職・氏 名 代表 東広島 太郎		
	住 所 (〒 739 — 8601) 東広島市西条栄町 8 番 29 号		
	TEL : 082-422-2111		FAX :
	E-Mail :		
事務所等の所在地 ※非公開	住 所 (〒 —) 団体の事務所を構えている場合は、こちらに記入してください。		
	TEL :		FAX :
	E-Mail :		
	連絡責任者 ※代表者と異なる場合に記入 ※非公開	氏 名 本補助金の活用に関して担当する方等、特に連絡責任者となる方が、代表者と異なる場合は、こちらに情報を記入してください。 ★今後補助金に関する市からの郵送物や電話連絡等は、こちらに記入のあった宛先、番号を使用します。	
住 所			
TEL :		FAX :	
E-Mail :			

団体の設立年月日	年 月 日
団体の設立目的・趣旨	団体の情報を記入してください。 定款も別途添付してください。
団体の主な活動と実績	
団体のホームページ	
	有・無 アドレス：

(2) 団体概要②

○住民自治協議会との調整

(団体名) <u>東広島まちづくり会社</u> による、 (事業名) <u>西高屋地域活性化事業</u> については、 当地域の課題解決や魅力創造につながる可能性のあるものと認めます。 令和 7 年 7 月 10 日 (住民自治協議会名) <u>東広島住民自治協議会</u> (代表者職氏名) <u>会長 賀茂 のん太</u> 
--

(3) 構成員名簿（非公開）

区分	氏名又は企業名 (役職名)	住所（町名まで）	在学者は学校名
代表者 1	東広島 太郎	東広島市西条	
	会長		
2	西条 次郎	東広島市●●町	
	副会長		
3	八本松 花子	東広島市●●町	
	会計		
4	志和 三郎	東広島市●●町	
5	高屋 桜子	東広島市●●町	広島大学
6	黒瀬 四郎	東広島市●●町	広島国際大学
7	河内 梅子	東広島市●●町	近畿大学工学部
8	豊栄 五郎	東広島市●●町	
9	福富 松子	呉市●●町	
10	安芸津六郎	広島市●●区	
	合 計	10名	

※代表者を含み、事業実施全体に関わりのある構成員全員について記入してください。

※各団体独自で作成されている名簿を添付することも可能です。

(4) 事業計画書

団 体 名	東広島まちづくり会社
事 業 名	西高屋地域活性化事業
事業の内容	(誰を対象に、いつ、どこで、どのような内容の事業を、どのような方法で行うのか。) ここを読めば、何を実施するのがわかるよう、具体的な事業内容を記入するようにしてください。
地域の現状 課題	(どのような地域か。どのような課題を抱えている地域か。) この事業に取り組もうとする背景になった地域の現状や課題について記入してください。
事業の 必要性と 公益性	(地域にどんな課題やニーズがあり、なぜこの事業を実施する必要があるのか。団体の利益のみでなく、地域課題の解決に寄与するものか。) なぜ、この事業が必要なのか、この事業によって地域にどのような効果が期待できるのか、について記入してください。

事業の収益性	(一定の収益が見込める事業となっているか。) 収入を得る方法を具体的に記入してください。
事業の継続性	(次年度以降、どのように事業継続していくか。) 来年度以降の事業を継続していくために、必要なこと、その解決方法について、記入してください。
その他	(工夫している点、他にはない独創的な点など) 独自に工夫した点など、その他アピールポイントがあれば自由に記入してください。

事業 スケジュール	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	関係者打ち合わせ
	9月	機材等購入
	10月	マルシェ等の開催
	11月	飲食事業等実施
	12月	特産品等検討打ち合わせ
	1月	必要物品の購入
	2月	
	3月	イベントに合わせた物販の実施

○地権者、関係法令等

該当事項	相手方	状況（該当するものに○）		
土地、建物の使用	所有者	許可済	許可見込	未協議
建築物の用途変更	市	許可済	許可見込	未協議
飲食店営業許可	保健所	許可済	許可見込	未協議
		許可済	許可見込	未協議
		許可済	許可見込	未協議
		許可済	許可見込	未協議

(5) 概算予算書

補助対象事業動経費の合計 (表中のBと同じ)		補助金申請額	参考・総事業費の額 (表中のDと同じ)
3,000,000 円		2,000,000 円	3,400,000 円
収入の内訳 (補助対象事業経費)	収入項目	金 額	内 訳
	市補助金	2,000,000 円	
	事業収入	500,000 円	
	事業への寄付、協賛金等	500,000 円	100,000×5 団体
	本補助金以外の助成金	円	
	団体の自己資金	円	
	その他の収入	円	
A 収入合計		3,000,000 円	※Bと同額になります。
支出の内訳 (補助対象事業経費)	支出項目	金 額	内 訳
	消耗品費	100,000 円	文房具代 ほか
	印刷製本費	100,000 円	チラシ代
	工事請負費	200,000 円	〇〇機器設置料
	原材料費	300,000 円	食材 ほか
	備品購入費	2,300,000 円	●●機器購入費
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
B 支出合計		3,000,000 円	※Aと同額になります。
参考：C 補助対象外経費	400,000 円	スタッフ謝礼	(対象外となる主な内訳を記載してください)
参考：D 総事業費 (B+C)	3,400,000 円		事業には必要でも、補助対象としない(できない)経費について、簡単に記入してください。

※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。

(6) 将来の展望
令和8年度以降の事業計画（案）

補助金交付の翌年度以降の事業計画
について簡単に記入してください。